

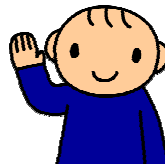
自立活動だより

平成28年6月発行

抽出指導のセクション3では、自立活動6区分の中の「コミュニケーション」と「人間関係の形成」について授業を行っています。そこで今回の自立活動だよりでは、昨年度「人間関係の形成」について取り組んだ活動内容や使用した教材等をいくつか紹介したいと思います。

●人間関係の形成 ～学習指導要領 自立活動編より～

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。



1. いろいろなきもちを理解する学習

(2) 他者の意図や感情の理解に関する事。

友だちと仲よくなりたいのに、相手の表情から気持ちを読み取ることが苦手なことや周りの状況が理解しにくいこと等が原因で関係を築くことが難しい子どもAへの取組。

活動1：表情の絵カード神経衰弱

・表情に注目し、気持ちと結びつけて理解する。



活動2：表情の絵と写真のマッチング

・身近な人（担任）の表情と気持ちを理解する。



活動3：表情の絵と状況の絵のマッチング

・状況や人の気持ちを想像し理解する。



活動4：ロールプレイ（動画）で理解を深める

・活動3で分かりにくい場面は、担任が同じ状況をロールプレイした動画を観ることで状況を理解する。

大好きな先生たちの登場に、注目度も理解度もUPでした。

※抽出指導で取り組んだ内容を担任と共有し、日頃からクラスで子どもが絵カードと同じ状況や気持ちになった場面では、「今、～と思ったね。」や「〇〇さん、～な気持ちだね。」と担任が言語化し伝えることで子どもの理解を促していきました。



2. 友だちと一緒に活動する学習

- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。

友だちと一緒に話や活動することが少し苦手で、ルールは理解しているが自己コントロールが難しくつい口や手が動いてしまう等同じような課題を持つ子どもB・Cと一緒にいった取組。

活動1：スリーヒントかるた

- (1) 友だちの机にも札を並べる。(O) (Bの目標)
- (2) 最後まで読むのを聞いて札を取る。(△)
- (3) 友だちと一緒に札の数を数える。(O)

- ・どうぶつです。
- ・あしがはやいです。
- ・ばかばかはしります。



自分のことを、正しく振り返れたかな？

- ・かるたに（勝った）喜けた・引き分け
- ・くやしい うれい・さんねん
- ・今度は勝ちたい・その他

活動3：友だちに質問しよう

- (例)「B君、クラスでおもしろい人はだれですか？」
「C君、ねばねばするものを2つ教えてください。」
「B君、いろいろする時は、どんな時ですか？」等

活動2：1分間集中トレーニング

- (1) 友だちを見ながら読む。(O) (Cの目標)
- (2) 友だちが書くのを待って読む。(O)
- (3) 注意された時はゆっくり読む (O)



活動4：ゲーム「ジェンガ」

- (1) 二人で協力して準備する。(O)
- (2) 左手を使わない。(△)
- (3) 二人で協力して片付ける (O)



「協力」等は抽象的な言葉ですが、担任の手本（動画）を見た後、正しく行動することができました。

※同じ活動でも二人の実態はそれぞれ違うため、それぞれ目標は少し異なります。活動の後で目標を読み返し、O・△・Xを自ら記入し、自分の言動を振り返りました。初めの頃はOばかりつけていましたが、少しずつ「今は△?!」と言いながら客観視することができてきました。

3. 言葉で考え、表現する学習

- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事

状況に応じた言動のコントロールが難しい子どもたちとの取組。絵カードやすごろく等使って、「こんなとき、どうする?」「こんなとき、何て言う?」等、言葉で考え表現する学習を行いました。



『ソーシャルスキルトレーニング絵カードことばと発達の学習室M 編・著』



SST ボードゲーム 『なかよしチャレンジ』

※初めの頃は言葉で説明することが難しく、「わからん」とすぐに言ってしまいがちでしたが、繰り返し取り組む中で絵の状況や適切な話し方等じっくり考え表現できるようになってきました。

今年度も保護者の方やクラスの先生と一緒に、子ども一人ひとりに応じた授業や支援等について考えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

